

## 予防接種に行く前に確認すること

### 1) 予防接種に行く前に確認すること

- 「予防接種をうけることができない方」「予防接種をうけるときに注意が必要な方」を確認しましょう。

「予防接種をうけるときに注意が必要な方」に当てはまる場合は、かかりつけ医の下で接種しましょう。他の医師の下で接種をうける場合は、かかりつけ医に意見書等を発行してもらいましょう。

- 予防接種をうけるお子さんの体調はよいですか。

予防接種は体調が良いときにうけるのが原則です。いつもと様子が違うなど気になることがある場合は、必ず接種医に相談しましょう。

病気との間隔 \* 目安になります。接種の可否は接種医に相談しましょう。

麻疹・風疹・みずぼうそう・おたふくかぜ…治ってから4週間以上あける

手足口病・りんご病・突発性発疹・インフルエンザ・かぜ…治ってから2週間以上あける

- ワクチンの種類や時期を確認しましょう。

接種できる時期や接種間隔は、ワクチンによって異なります。予防接種手帳の各ワクチンのページや同封の説明文で確認しましょう。

- ワクチンのメリットや副反応(副作用)について確認しましょう。

接種する予定のワクチンのページや予診票に同封されている説明文をよく読み、ワクチンの必要性や効果、副反応(副作用)についてよく理解したうえで、接種を検討してください。分からないことや心配なことがあれば、接種医と相談し、よく理解し接種を検討してください。

- 予診票は接種する日に記入し、親子(母子)健康手帳と一緒に持って行きましょう。

- お子さんの健康状態をよく知る保護者が同伴しましょう。

## 2) 予防接種をうけることができない方

- 明らかに発熱(通常 37.5℃以上)している方。
- 重篤な急性疾患にかかっている方。
- 接種を予定している予防接種に含まれる成分でアナフィラキシーを起こしたことがある方。
- 麻しん・風しん予防接種は、妊娠している方。
- BCG(結核)予防接種は、外傷等によるケロイドが認められる方。
- B 型肝炎予防接種は、B 型肝炎ウイルスに母子感染したおそれがある方で、抗 HBs 人免疫グロブリンの投与に併せて組換え沈降 B 型肝炎ワクチンの投与を受けたことがある方。
- その他、接種医が予防接種を行うことが不適当な状態にあると判断した場合。

## 3) 予防接種をうけるときに注意が必要な方

- 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患がある方。
- 予防接種をうけた後、2 日以内に発熱があった方。全身性発疹等のアレルギーと思われる症状がある方。
- 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方。
- 過去に免疫不全の診断がされている方。近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方。
- ラテックス過敏症のある方。
- BCG(結核)の予防接種では、過去に結核患者との長期の接触がある方。その他、結核感染の疑いがある方。